

～子ども議員任命式を行いました～

平成 29 年 7 月 30 日（日）大津市 コラボしが 2 1

今年度も 5 月下旬から 6 月下旬にかけて、県内在住の小学校 4 年生から中学校 3 年生までの児童生徒を対象に、滋賀県子ども議員の募集を行ったところ、多くの御応募をいただき、ありがとうございました。

この程、51 名の子ども議員を決定し、子ども議員として活動への意欲を高めるとともに、初めて出会う子ども議員同士の交流を深めるために「子ども議員任命式&交流会」を開催しましたので、その様子を報告します。

子ども議員任命式

今年度、県内 14 市町より、小学 4 年生から中学 3 年生までの 51 名が子ども議員に任命されました。

まず任命式では、三日月知事より、一人ひとりに任命書が手渡されました。緊張気味の子ども議員もいましたが、名前を呼ばれると大きな声で返事をし、堂々と任命書を受け取ることができました。



また、知事とがっちり握手をし、励ましの言葉をかけられた子ども議員たちからは笑顔もこぼれていました。

任命式の運営は、環境レイカーズと子ども議員経験者が中心の 16 名のサポーターが担ってくれました。サポーターの中には昨年子ども議員として活動してくれた高校 1 年生のサポーターや、実際に議員活動をされている方もいます。今後の体験活動や勉強会では、良きお兄さん、お姉さんとして子ども議員たちと一緒に活動していきます。子ども議員たちにとっては半年間の活動で大変心強い存在となります。





次に知事のお話を聞きました。知事からは、「みなさんの学校がどんな環境になればよいか、長生きできるようになったときにどんな問題があるか、病気になったときにどう助けあえばよいか、また400万年の歴史がある琵琶湖の水が汚れたり、固有の生き物が住めなくなったりするなど、様々な課題や問題にどう対応するか、今後、様々な体験や勉強を通して、12月の滋賀県議会の議場で提言として発表してほしい。楽しみにしています。また子ども議員として活動した後、大きくなってサポーターとして子ども県議会を支えてくれる側にもなってほしい。」と激励の言葉をいただきました。

最後に、知事、子ども議員、サポーターみんなで記念撮影をしました。その後、知事と子ども議員がハイタッチをしながら、知事をお見送りし、任命式が終了しました。

知事から任命を受け、12月に開催する「子ども県議会」に向けて、意欲を新たにしました子ども議員でした。



子ども議員交流会



任命式に引き続き、初めて出会う子ども議員どうしの交流を深めるために交流会が行いました。最初は緊張気味の子ども議員たちでしたが、アイスブレイクのゲームを通して、すっかり緊張もほぐれ、自然に子ども議員どうしの会話が生まれてきました。そして小グループで話をするときには、自分のことを積極的に話す子ども議員の姿も見られ、たくさんの子どもの笑顔

が見られました。交流会では、子ども議員たちに積極的に話しかけ、心をほぐしてくれたサポーターのおかげもあって大変盛り上がりました。これからの活動の中でも子ども議員どうしやサポーターとの交流を深め、県内各地に友情の輪が広まることを願っています。



記念撮影



みんなで半年間一緒に頑張りましょう

地域体験活動①～滋賀の防災体験～

平成 29 年 8 月 6 日（日）東近江消防 八日市消防署

2011 年の東日本大震災、昨年の熊本大分地震、そして先日の九州豪雨災害など毎年のように起こる災害。私たちの滋賀県も先日、台風 5 号の豪雨による水害が起きました。今回は、東近江市消防 八日市消防署を訪問し、防災を中心に、災害から私たちはどのように身を守って、被害を少なくし安全をつくっていくのかを、消防署の仕組みを知ったり、署員さんのお仕事を体験することを通じて考えてみました。



〈八日市駅に集合、徒歩で八日市消防署へ移動しました〉

暮らしを守る消防署の仕事



消防署に着くと、まず、署員さんから消防署での仕事について説明を聞きました。東近江消防の管内では、昨年度 11,659 件の災害(火災・救急・救助等)が発生していて、火災は全国で年間約 3 万 6 千件余り、約 4 分に 1 度の割合で発生しています。また救急の出動に至っては、全国で 620 万件余り、1 時間に約 400 件以上あることを知り、子ども議員は大変驚いていました。また、東近江消防

は、近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町、愛荘町の広範囲を受け持ち、25 万人余りの住民の安全を守っていることを知りました。また総勢 298 名の署員さんが訓練をしながら仕事をしていること、交代で朝まで泊まりで仕事をし、食事中でも入浴中でも出動がかければすぐに動けるようにしていることなどを聞き、私たちの安全が多くの方の署員さんの努力によって成り立っていることを知りました。

消防士の仕事を体験

説明の後、子ども議員は3つのグループに分かれ、「消防署施設・車両見学、消火器体験」、「放水訓練」、「救急講習」を行いました。

消防署施設・車両見学、水消火器体験

消防署施設見学では、デスクワークの部屋をはじめ、仮眠室、食堂やお風呂、消防服に着替える部屋などを見学しました。署員さんのお話の中で、週に1度、泊まりの署員さんがカレーを作っていること、入浴中に出勤がかかった時には、シャンプー中でも湯船に飛び込んですぐに洗い流し、乾かないまま出勤していることなど、1秒でも早く現場に到着し、消火・救命活動を行う署員さんの迅速な対応についてお話を伺うことができました。



また、まだまだ多くはないものの、他の消防署には女性の消防士さんも男性の消防士さんと同じ厳しい訓練を受けて、現在活躍されているそうです。

次に、車両見学をしました。救急車や消防車、はしご車などを見学し、各車両の特徴や装備についての説明を受け、子ども議員は興味津々の目で車両を見つめていました。

子ども議員の中には、署員さんのお話をメモ帳に熱心に書いている姿も見られ、大変頼もしく感じました。



最後に、水消火器を使った消火体験を行いました。少し恥ずかしがりながらも「火事だ！」と叫んで、実際の場面を想像しながら、水消火器を持ってのりに向かって放水することができました。



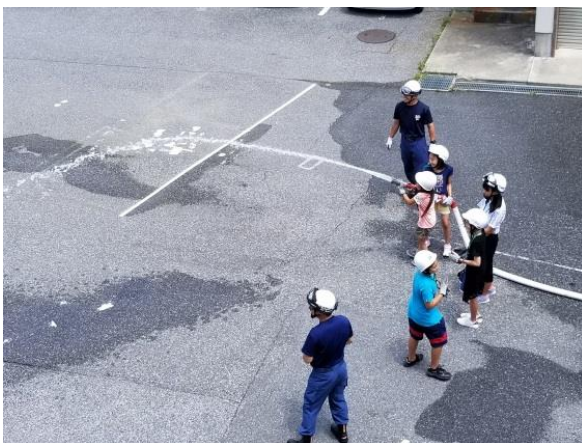
〈水消火器を体験したり、重い消火道具を背負ってみました〉

放水訓練



放水訓練では、10mのホースの広げ方、つなぎ方や連結の仕方を学び、消防士さんの大きな掛け声の中、放水訓練が行われました。ヘルメットを被った子ども議員は、放水される水の圧力を感じながら、数人で協力して放水しました。また、消防士さんに負けないくらい大きな声で掛け声をかけて、走る子ども議員の姿が見られました。

また、消防士さんが実際に着用しておられる消防服を実際に着用する体験も行いました。炎天下で、消防服を着用した子ども議員は、「すごく暑いなあ」と言いつつも、それらが自分の身を守ってくれる大切なものであることを実感することができました。



救急講習

救急講習では、最初に DVD を視聴し、救命措置が必要な場面で、AED がいかに大切な役割を果たしているかを、実例を通して学びました。

その後、人形を使って、心臓マッサージの練習を行いました。子ども議員は、署員さんの説明をよく聞き、心臓マッサージを行いました。意外に力が必要であることを実感していました。その後、人工呼吸の仕方や AED の取扱い方などについて署員さんから説明を聞きました。AED については、AED の機器の電流が流れるアナウンスに驚いた反応がありましたが、AED が命を救う大切な機器であること良く分かりました。



まとめ学習



3つの体験を行った後、今日のまとめとして、まずは、署員さんに質問をしました。

子ども議員からは、

- なぜ消防士になろうと思ったのか。
- 災害時の対応についてのパンフレットを住民に対して配布しているか。
- 消防士と消防団の違いについて
- 他の消防署との連携について
- 滋賀県は全国と比較して災害が多いかどうか。
- 普段どんな訓練をしているか。

など、子ども議員としての活動をはじめたばかりでしたが、積極的に手を挙げて質問をする姿が見られました。その姿に大変頼もしさを感じたとともに、今後の活動の広がりを期待する一場面でした。

最後に、今日の体験活動のまとめとして

- ①印象に残った体験
- ②その体験から感じたこと
- ③今日をきっかけに自分の地域(家庭・学校)でしようと思うこと

について、各自で用紙にまとめ、各グループで共有しました。



今回の学びを次回以降の体験活動や提案文の作成に活かしてほしいと思います。

子ども議員任命式からわずか1週間で迎えた今回の体験活動でしたが、さすがは子ども議員です。周りの大人が驚くほど仲良く、スムーズに活動を進めることができました。これからの体験活動や勉強会で、さらに仲間の輪を広げたり、時には意見をぶつけあうなど、子ども議員としてさらに成長してほしいと願っています。

次回は、愛東エコプラザ菜の花館にて、環境について、菜の花エコプロジェクトを掲げ、地域でのエネルギー自給を考える東近江市から、エネルギーについて学習をしていきます。

地域体験活動②～滋賀の環境体験～

平成 29 年 9 月 9 日（土）あいとうエコプラザ菜の花館

電気やガスは何からできるの？水道はどうして家までやってくるの？車は何で動いているの？私たちの暮らしに欠かせない電気、ガス、水道、交通などは、全てエネルギーが基本となっています。一方、東日本大震災での福島原発の事故や、海外に頼る石油など課題も多くあります。今回は、菜の花エコプロジェクトを掲げ、地域でのエネルギー自給を考える東近江市の取り組みを通して、滋賀の環境について学びました。



〈近江八幡駅に集合、バスで菜の花館へ移動しました〉

菜の花エコプロジェクトを学ぼう！

菜の花エコプロジェクトとは



〈BDF の精製方法について説明を聞きました〉

あいとうエコプラザ菜の花館に着くと、まず、職員さんから「菜の花エコプロジェクト」を始めたきっかけとその内容について教えていただきました。

「菜の花エコプロジェクト」は、琵琶湖の赤潮発生をきっかけとして、1981 年から廃食油を回収し、リサイクル石けん作りを行い、その後廃食油の新しい活用方法として 1996 年から燃料化に取り組みました。その取り組みをもとにして、1998 年から菜の花を栽培

し、収穫した種から油をしぼり、食用油として使用した後の廃食油をバイオディーゼル燃料（BDF）に精製し、ディーゼル車の燃料として活用。また、ディーゼル車から排出された二酸化炭素は菜の花によって吸収されるという地域資源循環システムを作り上げました。



〈菜の花エコプロジェクト循環図 出典：NPO 法人愛のまちエコ倶楽部 HP〉

このプロジェクトのことを「菜の花エコプロジェクト」と呼んでいます。子ども議員たちは、今までに学校で学んだことを思い出しながら職員さんの質問にも積極的に手を挙げて答えていました。

次に、実際に廃食油からバイオディーゼル燃料（BDF）を精製する体験を行いました。メタノールや水酸化カリウムなどの薬品と廃食油と混ぜ合わせることで、BDF ができあがる様子を確認しました。薬品と混ぜ合わせる時には、一人ひとり順番にゴーグルを装着して安全に気をつけながら、積極的に体験していました。



〈廃食油と薬品とを高速で混ぜ合わせると…〉

説明とバイオディーゼル燃料（BDF）精製体験の後、子ども議員は2つのグループに分かれ、「バイオディーゼル燃料でカー트를動かす体験」、「エコプラザ施設見学」を行いました。

エコプラザ施設見学

エコプラザ施設見学では、バイオディーゼル燃料(BDF)精製プラント、菜種乾燥調製プラント、搾油・精油プラントなどのBDF 精製の施設等を見学しました。

菜種の収穫から精油する工程、また廃食油がバイオディーゼル燃料(BDF)になるまでの工程を詳しく教えてもらいました。

また、施設内には、稲作から発生するもみ殻を炭化させて、もみ殻くん炭を作っているところも見学しました。このもみ殻くん炭は大変人気のある商品で、県外からも買い付けに来られる方も多いそうです。



〈大人気のもみ殻くん炭〉



〈リサイクルせっけん「愛ししゃぼん」〉

廃食油からは、自然にも優しく油汚れもよく落とすリサイクルせっけん「愛ししゃぼん」も作っています。このリサイクルせっけんが子ども議員に大人気で、多くの子ども議員が買い求めていました。

バイオディーゼル燃料で カートを動かしてみよう

この施設で精製したバイオディーゼル燃料(BDF)を使って、実際にカートを動かす体験を行いました。このBDFは東近江市内のコミュニティバスや公用車、イベントで使用する発電機の燃料としても活用されています。子ども議員は、BDFを使ったカートから出る排ガスのにおいを確かめたり、2人1



〈BDFでカートを動かしてみました〉

組になって、実際にカートを運転してみたりして、BDFのパワーと循環システムの素晴らしさを実感していました。

廃食油でエコキャンドルづくり

見学とカート体験が終わった後、廃食油を使って、全員でエコキャンドルづくりを体験しました。

たこ糸をキャンドルの芯にして、廃食油に着色し、コンロで温め、その後凝固剤を入れます。そして固まらないうちにたこ糸の芯の入った紙コップに入れ、さまして固めます。

子ども議員は、各グループで役割分担をしながら、手際よく作業を進め、全員綺麗なキャンドルをつくることができました。



〈完成したリサイクルキャンドル〉



〈みんなで協力してキャンドルづくり〉

ボイス調査



〈協力してボイス調査を行いました〉



すべての体験が終わった後、街の人の声を集めるために「ボイス調査」を行いました。子ども議員がグループごとに今日のテーマに関する質問や自分たちの関心のある内容についての質問を考え、お客さんやお店の人、行き交う人々にインタビューを行いました。今回は、あいとうエコプラザの隣にある愛東マーガレットステーションで行いました。

「ボイス調査」は滋賀県をよりよくしていくために欠かせない大切な活動です。最初は緊張でインタビューに躊躇していた子ども議員も、時間がたつにつれて、自分から積極的に動けるようになり、挨拶や御礼もしっかり言いながら取り組むことができました。

まとめ学習

ボイス調査の後、エコプラザに戻り、まとめ学習を行いました。
各グループに分かれて、

- ボイス調査の内容についての共有、どんなことを尋ねて、どう思ったか。
- 滋賀の「環境」について、自分たちの思いを出し合おう。
- 今回の体験のポイントである「循環型の生活」について、「循環型の生活」を送るためにはどうしたらよいか。

について、それぞれ意見を出し合いました。



〈各グループでまとめ学習を行いました〉

子ども議員は、サポーターのお兄さん・お姉さんのアドバイスのもと、ボイス調査の交流や滋賀の環境についての自分の意見をそれぞれのグループ内でしっかりと発表することができました。

1回目の体験活動から約1ヶ月、久しぶりに集まった子ども議員でしたが、しっかりとお話を聴き、そして仲良く、積極的に活動を進めることができました。

次回は、長浜市福祉協議会にて、滋賀の福祉について、講話やワークショップ等を通じて学習していきます。また長浜市内でボイス調査も行います。

いよいよ次回が最後の地域体験活動となります。しっかりと活動を締めくくり、議会勉強会、そして子ども県議会本番へとつないでほしいと思います。また活動を通じて、子ども議員の仲間の輪をさらに強いものにしてほしいと願っています。

地域体験活動③～滋賀の福祉体験～

平成 29 年 9 月 23 日（土）長浜市社会福祉協議会

「福祉」という言葉から連想するのは、介護サービスやデイサービス、老人ホームなどと答えることが多いかもしれませんが、本当にそれだけでしょうか？今回は、生まれてから死ぬまで、みんなが幸せに暮らしていくための様々な役割について、長浜市社会福祉協議会での体験活動を通して考えを深めてきました。



〈長浜駅に集合して、徒歩で長浜市社会福祉協議会へ移動しました〉

福祉を学ぼう！

絵手紙を作ってみよう



〈スライドで分かりやすく教えていただきました〉

まず、長浜市社会福祉協議会のボランティアコーディネーターの方から「ボランティアや福祉とは何か」について教えていただきました。

その中で、ベルマークや書き損じはがきを集めたりするなど、小学生にもできるボランティア活動が多くあることを知りました。また、「福祉」とは

- ⑤ ふだんの
- ⑥ ぐらしの
- ⑦ しあわせ

と、様々な人々が支えあって、日常の暮らしをどのようにして豊かにしていくかを考え、実行することだと教えていただきました。お話を聞くだけでなく、メモをとる子ども議員も以前よりも多くなり、僅かの間に子ども議員として成長した姿が多く見られました。

次に、ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯、そして障がいのある方のために、季節に応じた絵手紙を作成し送る活動を長きにわたってされている井上さんから、絵手紙の描き方について教えていただき、実際に作る体験をさせていただきました。



筆づかいの練習をした後、りんごやさつまいもなどの具体物を借りて、ハガキに絵を描いていきました。グループごとに分かれた子ども議員は、井上さんから描き方のコツを

それぞれ教えてもらい、自分なりに工夫しながら、絵を描いていきました。また前に貼り出されている見本をじっくりと観察し、自分の絵の参考になっている子ども議員もいました。



〈井上さんから描き方のコツを伝授〉



〈工夫しながら絵を描いています〉



人形劇をみんなで作ろう！



〈「おもちゃ箱」の方がまずは人形劇を実演〉

午後からは、人形劇ワークショップを行いました。浅井図書館を中心に活動をされている図書ボランティア「おもちゃ箱」の方から、人形劇の実演をしていただいた後、午前と同じグループで、針金やペットボトルのフタ、フェルト等を使った人形の作り方について教えていただきました。

子ども議員は、慣れない手つきで人形づくりに取り組んでいましたが、おもちゃ箱の方とサポーターのアドバイスもあって、全員何とか完成することができました。



〈協力して何とか人形ができました！〉



人形をつくった後は、グループでストーリーを考えて、つくった人形での発表にチャレンジしました。どのグループも、短い時間の中で協力しながら楽しいストーリーを考えていました。

練習をした後、いよいよ各グループの発表です。ストーリー作成や練習の時間が短かったこともあって、なかなか上手いかなかったグループもありましたが、みんなで楽しく協力しながら何とか演じきることができました。



〈楽しみながら、演じきりました！〉

ボイス調査



前回に引き続き、今回は、長浜市黒壁スクエア周辺で「ボイス調査」を行いました。この日は天候にも恵まれ、観光客も非常に多かったです。子ども議員は、今回のテーマの「高齢者福祉」や「観光」だけでなく、今までの活動の中で気になっていることについて、観光客やお店の方に対して、前回以上に積極的にボイス調査をすることができました。

まとめ学習

ボイス調査の後、まとめ学習を行いました。

各グループに分かれて、

- ボイス調査の内容についての共有、どんなことを尋ねて、どう思ったか。
- 今回の体験で感じたこと、今後に生かしていきたいこと

について、それぞれ意見を出し合いました。



今回で3回の体験活動が終わりました。子ども議員は体験活動やボイス調査を通じて、滋賀県の新たな一面を学んだり、人々が今の暮らしやこれからの社会についてどんな思いを持っているかを知りました。次回からは勉強会で提言づくりに取り組んでいきます。これまで体験を生かしながら、滋賀県がさらによりよくなるための提言を考えてもらいます。どんなアイデアがでてくるのか、みんなの頑張りに期待しています。